

2025年出版市場

紙+電子は1.6%減の1兆5,462億円、紙が4.1%減、電子が2.7%増

出版業界の調査研究機関である（公社）全国出版協会・出版科学研究所（所在地：東京都新宿区 理事長：近藤敏貴）は、2025年（1～12月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2026年冬号（1月26日発売）で発表しました。紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年比1.6%減の1兆5,462億円。4年連続のマイナスとなりコロナ禍前の19年とほぼ同規模に縮小しました。内訳は、紙の出版が同4.1%減、電子出版が同2.7%増。紙の出版は書籍がわずかに前年を上回り健闘、一方、雑誌は1割減と対照的な結果となりました。電子出版は引き続き伸長しましたが、これまで市場を牽引してきた電子コミックの伸び率鈍化が鮮明になっています。

紙の出版市場、ついに1兆円割る

2025年の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年比4.1%減の9,647億円。1976年に1兆円を超え、ピークの96年に2兆6千億円に達した市場もついに1兆円を割り込みました。内訳は書籍が前年同率の5,939億円、雑誌が前年比10.0%減の3,708億円。書籍は前年から2億円増で4年ぶりのプラス。ベストセラーが相次いで下半期は好調に推移し、年間の返品率も31.9%と大きく改善しました。雑誌は月刊誌（ムック、コミックス含む）が同8.6%減の3,195億円、週刊誌が同17.9%減の513億円。月刊誌の内訳は定期誌が約5%減、ムックが約4%減、コミックス（単行本）が約15%減。週刊誌は返品率が初めて5割を超えて、かつてない落ち込みに。コミックスは24年に大ヒット作が相次いで完結し、それにかわる大きなヒットがなかったことに加え、デジタルシフトの進行により大幅減となりました。

電子出版市場は5,815億円、コミック2.9%増、書籍1.5%増

2025年の電子出版市場は同2.7%増の5,815億円。内訳は電子コミックが同2.9%増の5,273億円、電子書籍が同1.5%増の459億円、電子雑誌が同3.5%減の83億円。電子コミックは伸び率が急激に鈍化。各ストアで大型のポイント還元や割引、期間限定の全話無料施策が活発に行われました。電子書籍は、文字ものがやや伸び悩むも写真集は絶好調。電子雑誌は24年にサブスクの値上げでプラスとなりましたが、会員数減少により再びマイナスに転じました。

■紙と電子の出版物販売金額									
年	2020	2021	2022	2023	2024		2025		占有率
					前年比	前年比	前年比	前年比	
紙	書籍	6,661	6,804	6,497	6,194	5,937	95.8	5,939	100.0 38.4
	雑誌	5,576	5,276	4,795	4,418	4,119	93.2	3,708	90.0 24.0
	紙合計	12,237	12,080	11,292	10,612	10,056	94.8	9,647	95.9 62.4
電子	電子コミック	3,420	4,114	4,479	4,830	5,122	106.0	5,273	102.9 34.1
	電子書籍	401	449	446	440	452	102.7	459	101.5 3.0
	電子雑誌	110	99	88	81	86	106.2	83	96.5 0.5
	電子合計	3,931	4,662	5,013	5,351	5,660	105.8	5,815	102.7 37.6
紙+電子	紙+電子合計	16,168	16,742	16,305	15,963	15,716	98.5	15,462	98.4 100.0



『季刊 出版指標 2026年冬号』

頁数：89ページ

判型：B5判

発売：2026年1月26日（年4回 25日発売）

価格：4,400円（本体4,000円+税）送料別

[第1特集] 2025年 出版物発行・販売概況

[第2特集] 2025年 電子出版市場

[第3特集] 子どもたちの読書離れと書店・図書館

＜本件に関するお問い合わせ＞

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当：原・柴田

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855 <https://www.shuppankagaku.com>